



市民要求実現
市対連交渉
11月9日4日

ママ友会議
12月19日(土)
午後1時~3時
アネックスパル法円坂

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



「二重行政」理由にコロナ禍で必要なものを壊した 狙いは巨大開発 住民サービスは必ず低下

ポテッカー



組合員集会
11月9日23日

大阪市をよくなる
会の中山直和さんは
講演の冒頭、よくす
る会事務所にピラ配

ピラ配布 ポラソニア

とを告発。「住民投

票」「反対」多数と
し、新自由主義政策
を進めてきた維新政
治を追い詰め、子ど
も・市民が希望を持
つことができる新し
い大阪をつくろう
と呼びかけました。



市退教学習会
11月9日5日

布のポラソニアが
続々と駆け付けてい
ることを紹介。市民
有志が「残そう、大
阪」というキャンペ
ーンを立ち上げ、自
作のフライヤー(ビ
ラ)を手に街頭宣伝
がおこなわれたこと
が報じられていま
す。「なくすな大阪
市」の運動が広がっ
ています。

中山さんは、大阪
維新の会の綱領(基
本的立場と理念)で
「産業基盤(競争・
成長)にかかわる事
務は広域自治体」と
しており、「都」構
想は淡路島にもう1
本の橋を架けるなど
の巨大開発が目的だ
が、IR(カジノ)
など「成長戦略」は
コロナで破たんした
ことを強調。

財政シミュレーシ
ョン「更新版」(8
月11日)に市民プ
ールを24力所から9カ
所に削減(12億円)
などが組み込まれる
など、住民サービス
維持の嘘が明らかに
なりました。



西・港・大正労働
学習会、港支部が
参加11月9日4日

維新の会は「二重
行政」を理由にコロ
ナ禍で必要なものを
壊してきました。住
吉市民病院の廃止、
府公衛研・市環科研
信用保証協会の統合
など。中山さんは、一
人でも「反対」を多
数に！投票率を上げ
ようと訴えました。

発言に立った大阪
市教の青年は、「コロ
ナ対応で学校は振
り回され、消毒作業
など大変。8時前に
出勤、昼休み休憩も
なく大変。政令市な
ら正規の教員を増や
し少人数学級ができ
る。『都構想』の前
は当然です。

大阪市は9月26日
から住民説明会を始
めました。「市長・
知事PR」一辺倒、デ
メリット言及はほぼな
し「推進派の主張
一色」と朝日が報じ
ました。開催回数
前回は39回から8回
になり、前回あった賛
否両論が分かる資料
も配布せず、「市民
の税金を使い、行政
として、あまりに偏
った話ではないか」
(自民府連)の指摘

都構想
反対!

大阪市の力で
コロナ
対策を

大阪市なくすな!
投票に
行こう

私は都構想に
反対です

住民説明会 推進派主張一色

教育のつどい大阪2020

子どももの心を開く教室

仲間が増えた!

少人数学級署名等郵送、加入書返信
保育所、育休復職の相談で加入

9月のある日、突然、組合加入書が送られてきました。調べてみると…。港支部はコロナ禍の影響で分会訪問や恒例行事などの組合活動が制限される中、何が出来るのかを検討し、採用3年目までの教職員に向けて、少人数学級実現署名、支部の活動紹介や大教済のパンフレット、加入書などを郵送しました。それを見た、以前から組合員とつながりのあった方が加入を決意したことがわかりました。さらに3人の方が大教済に加入。支部の丁寧なとりくみが実を結びました。また、保育所入所、育休復職後の働き方に悩み先輩に相談する中での加入もありました。さまざまな働きかけで、なかまをふやしましょう!

に業務量を減らす、
教員を増やすこと
を求めました。
女性部の代表は、
「産育休から4月に
復帰しましたが、保
育所も学校も大変で
した。小児科に行く
ことも多くなり、こ
ども医療費助成は助
かりました。メトロ
の黒字を当てにする
特別区の財政は破た
んすることを知らま
した。住民サービス
が必ず低下すること
を身近な人に話して
いくことが大切」と
述べました。

教育のつどい大阪
2020(大阪市内
ブロック)全体会が
9月19日阿倍野区民
センターで行われ、
高校生を含む200
人が参加しました。
記念講演は奈良少
年刑務所で詩の教室
を実践した作家の齋
美千子さんが行いま
した。齋さんは、07
年16年まで、社会
性涵養プログラム

(更生教育)の講師
として、子どもたち
に童話や詩を学ぶ
「物語の教室」の授
業を行いました。
授業の中で少年た
ちは、たくさん詩を
を作りました。講演
の中で、齋さんは少
年たちが作った詩を
いくつか紹介しなが
ら、これまで彼らが
苦しんできたこと、
それを詩という言葉
に出来たこと、そし
てその言葉を授業中
に他の少年たちに受
け止めてもらえたこ
と、これらの経験を
通じて少年たちが成
長していく様子を丁
寧に紹介しました。
感想が寄せられまし
た。

第28回 大阪市教 教研集会

- 呼びかけ「コロナ禍と教育」
- リレートーク
幼・小・中・養護教諭・栄養教諭・特別支援
事務・学生・保護者
- 分科会
保護者とのかわり、学級づくり、授業づくり
「共同学校事務室」、特別支援よろず相談室
養護教職員部(オンラインリモート部会)
- 教材スペース「学び屋台」
科学おもちゃ・折り紙・ひらがな練習帳…

10月10日(土) 13時30分
アネックスパル法円坂

参加者の感想

○涙無しには聞けま
せんでした。人間
ってみんな良い人
で、自己表現がで
きていないだけ。
悪さをするのは、
そのことで自分を
ガードしているだ
け。やっと声を出
して自分の詩を読
めた!みんなが拍
手してくれた。自
分の書いた詩を読
んで、それを受け
止めてくれる友達
がいる。
自分の普段の授
業のあり方を振り
返りました。

教え子を再び戦場に送るな!